

2019レジェンドカップ Division I のルール

2015年度日本バスケットボール協会競技規則(中学生以上の一般ルール)による ただし、以下の点を「レジェンドカップ特別ルール」とする	
試合球	5号球
試合時間・延長戦	6分正規・ハーフタイム5分 / 予選リーグは延長戦を行わない
シュートクロック	オフェンスリバウンド後の14秒リセットは採用しない
その他の注意点	
順位決定方法	1:勝率 2:得失点差 3:総得点により決定
試合開始時刻	原則指定時刻 前試合が遅れた場合は終了10分後開始
ベンチおよび人数	対戦表の左側のチームがT.O.席に向かって右、ユニフォーム淡色 選手(15名以内)、監督、コーチ、マネージャー(4名以内) ※ただし、各日ごとの登録選手変更可(必ず、大会本部に申請すること) ※ベンチ登録外選手に対しては、ベンチの後ろに立っての応援を認める
ディフェンス	ハーフコートマンツーマンディフェンスに限る 4Qのみオールコートマンツーマンディフェンスを行ってよい ただし、バックコートでのダブルチームは認めないが、リバウンド後やルーズ ボール等で、自然とプレスが起こることはOKとする。
マンツーマンディフェンス の定義	公益財団法人日本バスケットボール協会の指針に基づく (詳細は、JBAのサイトをご覧ください。) ただし、ハーフコートマンツーマンディフェンスに限る 4Qのみオールコートマンツーマンディフェンスを行ってよいが、バックコートでの ダブルチームは認めない ※コミッショナーは置かないので、各チームで徹底をお願いします。

交流ゲーム(大会2日目)

交流ゲーム (順位決定戦前の30分程度)	原則1Q以下しか出場していない選手が参加 勝敗にこだわらず、参加選手全員を出場させること 3ポイントシュートを採用 タイムアウトは、前後半に各1回 ディフェンスは全てハーフコートマンツーマン
試合時間	原則、7分×2セット、流しタイムで行う(延長戦なし) ※午後からの順位決定戦開始に合わせて、短くなる可能性もあり
選手交代	時計を止めていないので、自チームのゴール以外でのスローインのときに、 交代する(交代時はタイムを止める・何度でも交代できる)
審判	試合をするチームの帯同審判が担当
組み合わせ	主催者側にて決定(リーグ戦で対戦しないチーム同士の対戦)

※ 9日(土)は10:30開場予定です。10:30以降、第1試合のチームがコートを使用できます。

※ 例年同様、3クォーター開始3分前まで、次の試合のチーム練習可!!